

1 単元名 チームで解決しよう 体づくり運動

2 単元について

6年生は、これまでにその運動のおもしろさは何かという問いをもち、課題を探求することを行ってきた。例えばボール運動であれば、課題解決をめぐる攻防がおもしろさであり、器械運動であれば、回る、跳ぶといった動きそのもののおもしろさを味わってきた。その過程では、「もっと〇〇したい」「もっと〇〇ができるように」「もっと〇〇の感じを味わいたい」といった目標を意識し、そのためにどんなことをするのか、ということが課題として取り上げられてきた。

本単元では、6年間のまとめの一つと位置付けて、大きな枠組みの中から学習過程を考えることを学習者自身の手で行うことから始めていきたい。そして、学習者自身が、個の課題を設定し、どのように探求していくかということを考え、同じ課題意識をもった仲間とチームを作り、進めるような仕組みにしたい。

(1) 本単元で扱うこと

本単元では、動きそのもののおもしろさをより深めていくことが目標になる。そのため、まず全体で扱う大きな枠組みとして例えば、「跳ぶ」という動きを設定する。次に、これまで経験してきたおもしろい感じを想起しながら、おもしろさを整理し、もっと探求していきたい内容を計画していく。教師は、学習者としての視点で、その計画構想に加わりながら、学習者が考える、よりなっていきたい自分を探していけるように支えたい。

体育では、各単元で様々な用具を用いて活動を行う。特にゲーム形式などを用いなくとも、十分おもしろさを味わうことのできるモノや場面がある。本単元では、そのような動きそのものがシンプルで、探求の方向性が見出せそうなものを取り上げるようにしたい。

(2) 聴き合うことを大切にする集団の枠組みと環境

毎時間、自分が深めていきたいことを記録し、授業の冒頭、もしくは、中盤で共有できる時間を設けるようにする。他者と思いを聴き合うことで、学習者同士が、互いを理解し、自分が変化していく手ごかりを得られるようにしたいと考えている。そして、なるべくそれを試せるような集団を構成しながら、互いが個の思いを尊重できるような雰囲気を大切にしたい。そして、毎時間、課題を記録し、次回の冒頭に共有するというをくり返していく。そして、教師も含めた学習者が自分の変化を自覚し、意味づけられるようにしたい。

3 学習活動計画 (全6時間/4時間目)

1時間目	2	3	4	5	6
学習計画を立てよう ⇒ おもしろさを整理しよう ⇒ 探求したいことに取り組もう いろいろな「〇〇」を味わってみよう・・・問い直す・・・探求する					

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・自分の課題を更新することができる。
- ・課題解決の方法を工夫し、試そうとすることができる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動	教師の動きと留意点
1 本時の活動の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の前回の振り返りを活用する ・教師も積極的に介入し、記述の具体的な理解を図る。 ・状況から個の思いや動きを解釈するようにする。 ・学んだことを記録する。 ・動いてまとめる。
2 課題の共有	
3 課題の探求	
4 まとめ①	
5 まとめ②	